

# 至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和5年1月20日

第15号

## 3学期もよろしくお祈いします

学校に元気な子供たちの声が戻ってきました。何事もなく冬休みを終え、3学期のスタートです。

子供たちは「3学期に頑張りたいこと」「今年、頑張りたいこと」等の目標を立て、それに向けて動き始めました。どのような活躍を見せてくれるのでしょうか。

さて、冬休み中、最先端科学で動植物の進化に迫るテレビ番組で、植物の特集をしていました。「植物はおとなしくて動かない、何も感じない生き物」のように思われていますが、実際には、他の動物と同じくらいよく動き、色々なことを感じているということが分かったそうです。例えば、蝶の幼虫が葉を食べに来ました。すると植物は幼虫が嫌いな物質を作って自分を守ろうとするそうです。しかも自分が食べられていることを信号を出して周りの植物にも知らせます。すると周りの植物は食べられていないのに幼虫が嫌いな物質を作って出して、守る準備をするそうです。つまり、植物同士で会話をするのです。人間に当てはめると、緊急時の対応のようです。

また、植物は自分が育つのに必要な栄養を取ったら、後は実に送って、他の生き物に食べさせています。さらに、多様な植物が暮らす森では、隣の植物が枯れそうになったら、地下で栄養を送って助けようとするそうです。しかもそれをするのが当たり前のように。

植物の世界には、競争だけではない“支え合い”の世界が広がっているのです。植物はつながり合って生きていて、豊かな地球を作り出しているのです。始業式では、これを説明した後、



みなさんは新年を迎え、「今学期は、或いは今年はこんなことを頑張るぞ」と目標を立てたことと思います。その目標に向けてしっかり頑張ってください。それに周りの友達のことを思いやり、協力することも加えてください。そうすると、金山小学校は更により学校になると思います。

いよいよ今日から3学期、そして新しい一年が始まります。みんなで力を合わせて素敵な金山小学校をつくっていきましょう。

と話しました。

既に頑張り屋で思いやりいっぱいの子供たちが、「支え合い」を意識すると、どのよう

な金山小学校なるのか楽しみです。今学期もよろしくお願いします。

## 書初大会

始業式を終えて、子供たちは書初大会に臨みました。書き初めは紙に鉛筆で書くのと違って、消しゴムが使えません。途中で失敗しても書き直すことはできないので、失敗しないように書かなければなりません。そのためには、心を落ち着かせ、集中して一画一画丁寧に書くことが大切になります。子供たちは、それを十分に理解していて、静かな中で落ち着いて真剣な表情で書いていました。

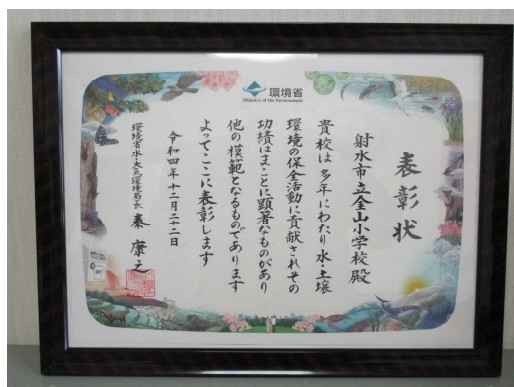


休み中の練習と真剣に本番に取り組んだ成果でしょうか。「前よりも上手になったね」と思いながら、書き上げた字を眺めました。

## 水・土壌環境保全活動功労者表彰受賞

この度、本校が「令和4年度 水・土壌環境保全活動功労者表彰（環境省 水・大気環境局長表彰）」を受賞しました。これは本校の「長年に亘るホタルの飼育や水生生物の調査、ため池の水抜き、里山を生かした体験活動等を通して、豊かな自然を守る活動に取り組んできたこと」が認められての表彰です。

この受賞は、卒業生も含め、前々から本校の子供たちが熱心に活動に取り組んできた結果ではありますが、地域の皆様のご協力なしではあり得なかったと、感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を大きな励みとして、今後も金山の豊かな自然に親しみ守って行く学習や活動に取り組んでいきたいと思っています。



## 避難訓練（長休み時の火災発生設定）

19日（木）の長休み、家庭科室から火が出たという想定での避難訓練を行いました。

火災での死因の第1位は、焼死ではなく煙死だそうです。煙死には一酸化炭素中毒も含まれます。煙が広がる速さは、横方向は毎秒0.2～0.5m、縦方向は3～5mだそうですので、煙が天井に張り付いている前に避難する必要があります。一酸化炭素は無色無臭で分かりにくい上、一息吸うだけで意識を失うこともあるそうです。火事では火そのものも怖いですが、火事によって発生する煙や悪い空気（一酸化炭素）が火より速く迫り、怖いと言えます。

これまでの訓練では教師が誘導していましたが、火事はいつ起こるか分からないので、教師がいない休み時間等に、放送を聞いて自分の判断で避難する今回のような訓練も大切です。火事を起こさないことが何より大事ですが、万が一のための備えとして、大切な避難方法を体験する機会でした。